

概要

農研植物病院は、2024年に(国研)農研機構の認定スタートアップとして創立しました。
農研機構と連携した高い研究開発力による、検査法が確立されていない病害や緊急性の高い病害についての検査系開発を強みとしています。2025年10月より目視検査サービスも開始し、より広い業種のお客様に迅速・高精度な検査サービスを提供しています。

基本情報

検査の区分

- | | |
|--|--|
| ☐ 栽培地検査 | ☐ 消毒検査 |
| ☒ 精密検査 | ☒ 目視検査 |

問い合わせ先

TEL : 050-8886-3068

Mail: InfoOnaroph.jp

検査を行う区域

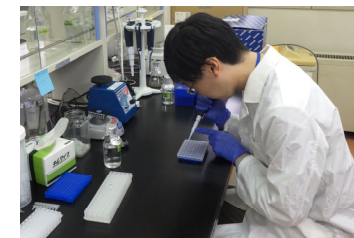
精密検査: 全国

目視検査: 全国



活用事例の概要

種子・苗物の輸出に係る精密検査では、サンプルの状態等について詳しく状況をお伺いし最適な検査方法をご提案します。輸出先開拓・各国の検疫強化に伴う新規の病害検査法の開発実績も多数ございますので、輸出にお困りの植物がございましたらまずはお相談ください。
また、つくば研究学園都市に立地し、研究機関・大学等の皆様の研究用植物の輸出にもご利用いただいています。目視検査では、検疫対象病害虫を防ぐ栽培管理や選果方法に関する情報提供を行い、輸出をサポートしています。



活用によるメリット

- 最短5日での精密検査の実施が可能です。
- 検査法の新規開発力で、輸出先・輸出品目の新規開拓をサポートします。
- 検査の効率化により、精度を保ちつつ多検体の検査にも対応します。
- 研究用の小口検査、研究予算でのご依頼にもきめ細かく対応します。
- 輸出のほか、種苗・苗木の品質管理、施設の衛生管理にも検査を活用可能です。
- 目視検査は随時対応可能で、港が遠い方も柔軟な輸出計画が立てられます。
- 青果輸出では、栽培・選果時より病害虫対策の情報提供・支援を行います。